Q 小学生が使用しているヘルメットの耐久年数は

A 3年程度での交換を推奨している

繋（つなぎ） 由香（ゆか）

映像はこちらから

Q 貸与されたタブレットを利用し、3年生の終わり頃に、通学用ヘルメットが点検のタイミングである事、SGマークの保険期間の満期（3年）が迫っている事を、保護者にお知らせ出来ないか。

A 学校のホームページ等で、周知をしている学校もある。今後、各小学校を通して周知を図っていく。

Q 新中学校1年生についても、自転車用ヘルメットの購入に対し、何かしらの補助を行う考えはないか。

A 今後、近隣市町の状況を注視しながら研究していく。

Q 16歳以上の方を対象に自転車用ヘルメットの購入補助を行う考えは。

A 市では、小学生全員を対象として購入補助を行っており、現在、新たな補助は考えていない。

Q 埼玉県の条例「自転車安全利用の日」に、本市でも公式LINEで安全運転を呼び掛けられないか。

A 交通安全運動の実施期間に併せるなど、利用者に対して負担にならないよう配慮し実施していく。

●中学校入学支援

Q 中学校または、特別支援学校の入学時、学用品に掛かる費用の家庭負担が非常に大きい。新1年生を養育している保護者を対象に、市として支援をしていく考えはないか。

A 新1年生となる生徒を養育している全ての保護者への支援は、市の子ども政策全般に関わる事であり、財政面の負担も伴う事を考慮しながら、研究する必要がある。

Q 公共施設マネジメントの更なる周知を

A 将来のため公共施設再編の必要性の周知に一層努める

五間（ごま） くみ子（こ）

映像はこちらから

Q 公共施設の適正配置は、将来を見据えた取組である。現在の施設数の維持には毎年8億円の不足が生じると試算されている。どの施設を廃止・統廃合するかなど、10年ごとの計画の中で再編方針を示し行っていると思うが決定のプロセスは。

A 令和5年3月に2次計画を策定したが、外部の検討組織を設置し協議を重ね、計画案等を議員に説明後、パブリックコメントで市民に内容を提示し策定に至っている。

Q 1次計画で未達成施設（わんぱくランド等）の扱いについては。

A 未達成施設は1次計画の再編方針に基づき課題の調整や対応策の検討等を含め進捗管理を行っている。廃止期日は施設の利活用を含め調整が整ってからとしている。

Q 市民との合意の在り方について、ワークショップ等の手法は。

A 市民目線での意見等取り入れるため、外部検討組織を設置してきた。適切なやり方等検討していきたい。

●再整備にあたり防災機能強化を

Q 仙元山公園の再整備構想で、全世代型運動公園を目指していくとのことだが、避難所でもあるビッグタートルも含め、防災機能の強化を図っては。

A 市の支出が抑えられる効果的な事業手法について十分研究するとともに、避難所の機能強化についても防災部局等と調整し検討する。

わんぱくランド

Q 女性管理職の登用拡大は重要と考えるが市の見解は

A 意思決定の場における多様性確保において不可欠である

今井（いまい） 慶一郎（けいいちろう）

映像はこちらから

Q 深谷市では過去10年間、女性部長職が1名と極めて低い。この現状をどう認識しているのか。

A 女性職員の昇任試験受験率の低さや、出産・育児によるキャリアギャップが課題であると認識している。

Q これまでどのような対策を講じてきたか。

A 女性活躍研修や管理職研修でのジェンダーギャップ講義、育児・介護休暇制度の拡充などを行ってきた。男性育休取得率は令和2年度の31・8％から令和6年度には81・8％に、平均取得日数も17・3日から62・0日へと増加している。

Q 部長職以上の女性登用の具体的な目標設定と達成時期は設けるか。

A 次期計画で管理職の割合を目標値として設定し、令和12年度までを達成時期とする。

●子どもたちの「挨拶」の教育的意義を問う

Q 防犯上の指導と挨拶指導の矛盾について、子どもたちが混乱しないよう配慮をしているか。

A 防犯ブザーの使用や「いかのおすし」といった防犯指導と並行し、感謝を込めた挨拶を指導していく。ロールプレイング形式の指導も検討する。大人も手本となるよう、保護者や地域にも働きかけていく。

あいさつを大切に

Q 岡部駅北側の放置自転車等の対策は

A JRに対し解決に向けた要請をしていく

福島（ふくしま） 秀樹（ひでき）

映像はこちらから

Q くるりんのバス停を囲むように放置自転車等が置いてあり、送迎の車両の支障になっていて危険である。対応策について伺う。

A 今後、岡部駅橋上駅舎化を進める中で、JRと協議していく。なお、この自転車問題については、引き続きJRへの要請や、JR等へ可能な協力を行っていく。

●通学路の安全対策について

Q 岡部小学校、岡部西小学校は県道や広い道路に面しており、登下校時は通勤等の車両がスピードを出していて危険な状況にある。時間帯規制など、今後可能な安全対策について伺う。

A 深谷警察署に確認したところ、県道では規制が困難、また歩道が設置されている道路は対象外の回答であった。道路の舗装や路面標示の劣化も見受けられるため、現地を確認のうえ、必要な修繕を行っていく。

●住宅用火災警報器について

Q 令和6年度の設置支援実績等は。

A 令和6年6月1日から住宅用火災警報器の取付けや取替えが困難な65歳以上の高齢者等の世帯のうち、取付けを希望する世帯に対し、消防職員が直接自宅を訪問し、事前に用意していただいた機器の取付けを開始した。令和6年度の実績は、10件の支援を行った。今後も、より多くの支援に繋がるよう、周知の方法を調査研究していく。